

授業科目	公衆衛生学	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		理学 作業	選択 選択

科目担当責任者	山本 武志 (保健医療学研究棟 E311 号) e-mail : t-yamamoto@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	私たちがとりまく物理学的環境、化学的環境、生物学的環境、社会的環境は人々の生理機能に影響を与え、健康、健康障害の発生に大きく関わっている。健康問題を環境との関わりから広く理解し、疾病の予防、健康増進を図るために良い環境とは何かを学ぶ。加えて、環境測定の手法を身につける。		
到達目標	1. 環境を生態学的にとらえ、人間をその中の一員として考えられる 2. 生物学的・化学的・物理学的環境要因と健康問題を理解し、その問題の今後の予防策について述べるができる 3. 環境測定的基础について学び、科学的に適切な測定を実践できる力を身につける		
関連科目	疫学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	30%	提出物はレポート、グループワーク等の成果物とする。
	筆記試験	70%	
教科書	辻一郎 [2022] 「シンプル衛生公衆衛生学」 南江堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	看護学科(2年)の環境保健論と合同で行う場合がある		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション:公衆衛生学/環境保健学の意義、歴史的 背景	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	講義	山本
2	地球環境と健康	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
3	化学的環境と健康	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
4	物理学的環境と健康	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
5	産業保健	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
6	学校保健	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
7	放射線と健康	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃
8	公害と健康問題	事前:教科書の学習 事後:配付資料の復習	〃	〃